

公共政策フォーラム2026 in 鳴門 募集要項

公共政策フォーラム（以下「フォーラム」という。）は、公共政策を学ぶ大学生が、開催自治体が定めたテーマや抱える諸課題に即した政策提言を行う政策コンペティションです。2026年度は徳島県鳴門市での開催です。奮ってのご応募をお待ちしております。

1. 開催自治体・日時・会場

開催自治体：徳島県鳴門市

開催日時：2026年12月5日（土）～6日（日）

会場：鳴門市役所本庁舎

住所：〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170

WEB：<https://www.city.naruto.lg.jp/>

※フォーラムに関するお問合せは末尾の実行委員会事務局までお願いいたします。

2. テーマ・募集内容

「鳴門、正直どう？～地方の『まち』を本気で考えてみた～」

<コンセプト>

鳴門市は人口減少や少子高齢化だけでなく、特有の地理的特性条件やこれまでの歩みに起因する複合的な課題を抱える一方、世界三大潮流に数えられる「鳴門の渦潮」や鳴門市阿波おどりなどの観光資源をはじめ、豊かな海産物や農産物、伝統ある文化や歴史などを多数有しています。

全国の多くの地方都市は、一見するとどれも似たような人口減少課題を抱えているように見えるかもしれませんが、それぞれのまちが持つ歴史や伝統、産業や環境には、そこにしかない固有の魅力と発展の可能性が存在します。鳴門市もまた、その知名度は全国的に一定程度有するものの、多様な魅力や抱える課題の深層については、まだ十分に知られていない地域の一つと言えるでしょう。

本フォーラムが、学生の皆様にとって鳴門市を一つのフィールドとして深く知り、学び、率直に感じたことを「正直な気持ち」で本気で考えていただく絶好の機会になると確信しております。そのため、あえて特定の枠組みを設けない「フリーテーマ」を設定いたしました。若い感性とエネルギー、そしてデータに基づく客観的な分析をもって、これからの日本を切り拓く学生の視点から、今の時代、そして未来の鳴門市に向けて真に必要な政策は何か、柔軟かつ大胆な提言を期待しています。

鳴門市が「選ばれるまち」、「また戻ってきたいと思えるまち」そして何より、住民が「住んで良かったと思えるまち」となるよう、皆様の多角的なアプローチによる提言を楽しみにしています。

<鳴門市の紹介>

鳴門市は四国の東部、徳島県の東北端に位置しており、関西圏に近接する「四国の玄関口」です。淡路島との間に広がる鳴門海峡は、日本百景にも選定された美しい景観と、世界でも珍しい渦潮が発生する場所としても有名です。

2027年度中には、大鳴門橋の桁下空間を活用した自転車道が完成する予定です。これにより、新た

な広域観光・交流インフラとして自転車や徒歩での往来が可能となり、国内外からのサイクルツーリストを中心とした滞在型観光客の増加が見込まれています。

歴史・文化面においても、毎年夏に徳島県内トップを切って開催される「鳴門市阿波おどり」をはじめ、四国八十八ヶ所霊場の第一番札所「霊山寺」や第二番札所「極楽寺」を有します。また、第一次世界大戦時の板東俘虜収容所におけるドイツ兵と地元住民との国境を越えた交流を背景に、アジアで初めてベートーヴェンの交響曲「第九」が全曲演奏された歴史を知ることができる「ドイツ館」や、江戸時代後期を起源とし国の伝統的工芸品にも指定されている「大谷焼」など、鳴門市を象徴する多様な文化資源が点在しています。「鳴門鯛」「鳴門わかめ」「なると金時」に代表される豊かな食のブランドも全国的な評価を得ています。

このような豊かな資源を持つ鳴門市では、最上位計画である「第七次鳴門市総合計画」に基づき、「ひとが輝き 持続可能な未来をひらく あらたな なると」という将来都市像の実現に向けた施策を展開しています。しかし、人口減少に伴う地域の担い手不足や価値観の多様化によるニーズの複雑化に加え、今後30年以内に60%～90%程度以上の確率で極めて高い切迫性をもって発生すると予測されている南海トラフ巨大地震への対策など、持続可能なまちづくりには多くの壁が立ちはだかっています。

そこで鳴門市は、様々な独自施策を展開しています。人口減少対策としては、結婚・新生活から妊娠・出産、充実した教育環境の提供（英語力向上サポート等の学力向上パッケージ）、さらには定住促進住宅取得補助金による住宅取得支援まで、各ライフステージを切れ目なく包括的に支援する「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」を通じて、若年層の移住・定住促進を強力に推し進めています。

また、都市計画・防災対策の観点からは、日常と非常時（災害時）の垣根をなくし、平時の利便性向上と災害時の強靱なレジリエンス確保を両立させる「フェーズフリー」の概念を、ハード・ソフト両面からまちづくりに取り入れる先駆的な取り組みを推進しています。

さらに、財政面における特徴として「ボートレース鳴門」の存在が挙げられます。地方公営企業であるボートレース事業の収益は、一般会計への繰出金等を通じて、広域交流拠点である道の駅『くるくるなると』の整備、市役所新庁舎の建設などの重要な財源として機能するとともに、ボートレース鳴門の地域開放型施設整備や地元地域への貢献など鳴門市のまちづくりに大きく関わっています。

3. 応募資格・要件

- ・大学生が主体となって行う政策提案を募集します。
- ・提案内容は、前述の鳴門市のテーマや募集内容と関連性のあるものとしてください。
- ・参加できる学生は学部生に限ります。大学院生は参加できません。
- ・日本公共政策学会会員1名以上が指導教員となり、適切な指導を受けられる体制の下でご応募ください。なお、応募は1ゼミ（指導教員）あたり1チームとします。
- ・非会員の方が指導教員となりご応募される場合は、事前に実行委員会へお問い合わせください。

4. 政策コンペティションの概要

(1) 実施方法

- ① 参加チームによる「論文」の作成（事前提出）

- ② 参加チームが2つのブロックに分かれて予選会（プレゼンテーション）を実施・審査
 - ③ 審査により各ブロックの上位3チームを選考
 - ④ 各ブロックから選考された6チームで決勝戦（プレゼンテーション）を実施（6チームが再度発表）
 - ⑤ 決勝戦の審査により各賞を決定
- ※参加チーム数に応じてブロック分けや決勝戦に進出するチーム数を調整します。

(2) 審査用論文

- ・政策提案の内容をまとめた論文を作成、事前に提出をいただきます。
- ・論文の文字数は1万字程度（図表含む）としてください。
- ・論文の様式は以下の表のとおりとってください。

形式・サイズ	MS-Word形式（A4）
向き	用紙：縦向き／文字：横書き
余白	上下左右すべて25mm
段落	40字×40行
フォント	MS明朝／10.5ポイント
その他	下段にページを付番

- ・最初のページに表題、大学名・学部名、チーム名（指導教員氏名）、代表者氏名、発表者氏名、参加者氏名を記載してください。
 - ・表題等の次（本文の前）に、概ね800字程度で「梗概」を記載してください。
- ※その他、様式の詳細は参加チーム宛てにあらためてお知らせいたします。

(3) 発表方法・時間

- ・2026年12月5日（土）の午後に予選会、12月6日（日）の午前中に決勝戦を行う予定です。当日のプログラム等の詳細は、後日あらためてお知らせします。
- ・予選会、決勝戦ともに発表用資料を会場のスクリーンに投影し、プレゼンテーションを行っていただきます。
- ・予選会、決勝戦ともに1チーム当たりのプレゼンテーションの時間は15分とします。
- ・発表後、審査員との質疑応答が行われます。時間は5分程度を予定しています。
- ・発表前及び質疑応答後にそれぞれ5分程度の準備（撤収）時間を設けます。

【1チームあたりの時間配分イメージ】

準備 ※前チーム撤収 5分	発表 15分	質疑応答 5分	撤収 ※次チーム準備 5分
---------------------	-----------	------------	---------------------

(4) 発表用資料

- ・発表用資料は Microsoft 社の PowerPoint を使用して作成してください。
- ・スライドの画面比率は 16：9としてください。スライドの枚数に制限はありません。
- ・発表用資料は事前に送付していただきます。

(5) 発表用機材

- ・パソコン、プロジェクター、スクリーンは、事務局で準備したものを使用してください。
- ・パソコンはWindows搭載機を使用します。パソコンとプロジェクターの接続はHDMI端子で接続します。
- ・各チームで持参したパソコン等を使用する場合は事前に事務局へご連絡ください。ただし、その場合は準備時間（5分）の中でセッティングを完了するようにしてください。なお、動作保証はいたしかねますのであらかじめご了承ください。また、HDMI端子でプロジェクターに接続できるものに限られますのでご注意ください。

(6) その他

- ・予選会、決勝戦いずれも一般公開とします。
- ・予選会及び決勝戦の様様については動画撮影を行い、後日、一般公開予定です。発表用資料等における著作権への配慮をお願いします。
- ・審査用論文については、フォーラム終了後、市公式ウェブサイト等に掲載予定です。

5. 審査

(1) 審査基準

- ・審査対象は、事前に提出いただく「論文」及び当日の「発表内容」となります。
- ・審査は、以下の6項目について、各5点ずつ配点し30点満点で採点します。

	審査項目	配点
I	テーマ及び課題の把握が的確かどうか	5
II	論点の明晰さ	5
III	表現の適切さ	5
IV	具体性・実現性	5
V	独創性	5
VI	発表時間の適切さ※	5
採点合計		30

※既定発表時間15分に対する実際の発表時間の長短により減点を行います。

（詳細は後日お知らせします）。

※発表時間が18分を超えた場合はその時点で発表終了となりますのでご注意ください。

(2) 審査員

・日本公共政策学会関係者及び鳴門市関係者が審査員となり各提案を審査します。審査員及び審査体制の詳細は、後日あらためてお知らせします。

(3) 表彰（予定）

- ・日本公共政策学会会長賞（最優秀賞）
- ・鳴門市長賞
- ・鳴門市議会議長賞
- ・鳴門商工会議所会頭賞
- ・大麻町商工会長賞
- ・鳴門市教育長賞

6. 参加申込・調査方法等

(1) 参加申込方法

- ・別添の**様式1「参加申込書」**に必要事項を記入いただき、下記の実行委員会事務局へ電子メールで提出してください。事務局において、受信を確認次第、その旨を電子メールで返信いたします。
- ・参加申込書の受付期間は**2026年5月15日（金）～7月17日（金）23時59分**です。期限厳守でお願いします。

(2) 質問・現地調査

・質問

鳴門市の施策等に関して市役所各部局へ質問がある場合は、別添の**様式2「事前質問票」**に必要事項を記入いただき、実行委員会事務局へ電子メールでご提出ください。受信後、実行委員会事務局から市役所各部局に取り次ぎし、電子メールで回答します。

・現地調査

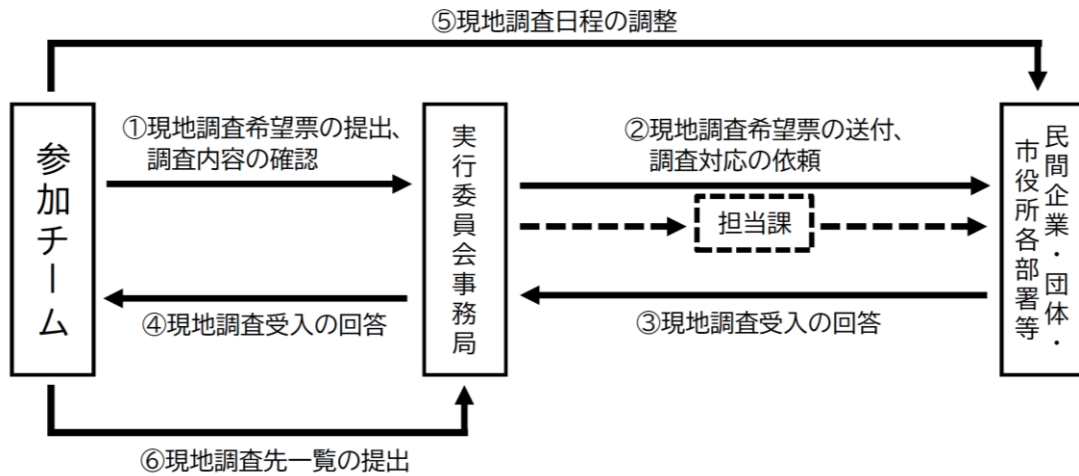
現地での調査等を行うため、鳴門市内の民間企業・団体・市役所各部局など調査先の紹介を希望する場合は、**様式3「現地調査希望票」**に必要事項を記入いただき、実行委員会事務局へ電子メールでご提出ください。受信後、実行委員会事務局において調査希望団体へ現地調査希望票を送付し、回答がありましたら電子メールで連絡します。

現地調査の受入が可能となった場合の調査先との日程調整等は各チームが直接行ってください。また、調査先への訪問や市内移動等についても各自で手配をお願いします。

調査日程が決まりましたら、**様式4「現地調査先一覧」**へ記入いただき、実行委員会事務局への情報共有にご協力をお願いします。

現地調査後に、調査先への追加調査や質問事項がある場合は、直接調査先へご連絡ください。

(参考) 現地調査までの流れ



(3) 審査用論文提出

- ・ 前述のとおり、政策提案の内容をまとめた論文を作成し、実行委員会事務局へ電子メールで提出してください。論文は**MS-Wordファイル**とします。
- ・ 論文の提出期限は**2026年11月6日（金）23時59分**です。期限厳守をお願いします。
- ・ 提出された論文は、実行委員会事務局において形式等を確認いたします。その際に、審査に支障がある文字化け等があった場合には修正をお願いすることがあります。
- ・ 論文提出後の内容修正等に関する手続きは、後日あらためてお知らせいたします。

(4) 発表用資料提出

- ・ 前述のとおり、政策コンペティション当日の発表用資料を作成し、実行委員会事務局へ電子メールで提出してください。資料は**PowerPointファイル**としてください。
- ・ 発表用資料の提出期限は**2026年11月27日（金）23時59分**です。期限厳守をお願いします。

7. 交通アクセス・宿泊

(1) 交通アクセス

- ・ 鳴門市へのアクセス

【関東方面より】

- ◇飛行機：羽田空港→（約1時間15分）→徳島阿波おどり空港→（路線バス：約15分）→鳴門駅前
- ◇電車：JR東京駅→（新幹線：約3時間20分）→JR岡山駅→（マリンライナー：約1時間）→JR高松駅→（特急うずしお：約1時間）→JR池谷駅→（鳴門線：約20分）→JR鳴門駅
JR東京駅→（新幹線：約2時間50分）→JR新神戸→（高速バス：約1時間40分）→高速鳴門
- ◇バス：東京駅→（高速バス：約9時間）→高速鳴門

【近畿方面より】

◇バス：

(大阪より) JR大阪駅・阪急三番街→(高速バス：約2時間)→高速鳴門

(京都より) 京都駅→(高速バス：約2時間20分)→高速鳴門

◇車：

(大阪より) 吹田IC→(約1時間40分)→鳴門IC

(京都より) 京都南IC→(約2時間30分)→鳴門IC

【その他アクセスの詳細】

・鳴門市公式観光サイト：<https://naruto-tourism.jp/jp/access>

・鳴門市役所へのアクセス及び庁舎レイアウト等

鳴門市公式ウェブサイト：<https://www.city.naruto.tokushima.jp/shisei/shiyakusho/jikan/>

(2) 宿泊

・宿泊施設については、各自でご手配くださいますようお願いいたします。

(参考) 鳴門市公式観光サイト：<https://naruto-tourism.jp/jp/stay>

鳴門市うずしお観光協会サイト：<https://www.naruto-kankou.jp/charm-cat/stay/>

8. その他

・発表当日の開催要領や追加のご案内等については鳴門市公式ウェブサイト等に順次掲載するほか、参加チームへ電子メールにて直接連絡します。

・発表者の服装は自由とします。特に指定はありませんので各チームでご判断ください。

・昼食や補食等が必要な場合は各自でご準備ください。

9. 鳴門市政参考情報

・第七次鳴門市総合計画

https://www.city.naruto.tokushima.jp/shisei/kangaeru/keikaku/seventh_plan/

・鳴門市総合戦略

<https://www.city.naruto.tokushima.jp/shisei/kangaeru/keikaku/sougousenryaku/>

・鳴門市行財政改革計画～シン・スーパー改革プラン～

<https://www.city.naruto.tokushima.jp/shisei/torikumi/kaikaku/>

・鳴門市DX推進計画

https://www.city.naruto.tokushima.jp/_files/00495745/DX_suishin.pdf

・鳴門市統計、オープンデータ

<https://www.city.naruto.tokushima.jp/shisei/shokai/tokei/>

・鳴門市財政

<https://www.city.naruto.lg.jp/category/bunya/zaisei/>

- ・ 条例、規則等

<https://www.city.naruto.lg.jp/category/bunya/kangaeru/jorei/>

- ・ その他市の各種取組

<https://www.city.naruto.tokushima.jp/shisei/kangaeru/>

- ・ 鳴門市SNS

<https://www.city.naruto.tokushima.jp/shisei/koho/socialmedia/>

<お問い合わせ・各種申し込み・資料等提出先>

公共政策フォーラム2026 in 鳴門実行委員会事務局

(担当部署：鳴門市未来戦略局企画政策課)

住所：〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170

E-Mail: naruto2026@ppsa-forum.jp

※お問い合わせは原則Eメールのみとさせていただきます。何卒ご了承ください。